

CGY750 アップデート機能説明 (バージョン 1.31)

■バージョン1.31 は、バージョン1.30 の一部機能不具合を修正したバージョンです。修正箇所は、以下の項目です。

1. GY701/CGY750 データコピーツールの動作不具合の修正

パソコン上の設定データをCGY750 に転送時に、書き込みエラーが発生する場合があります。これを修正しました。

2. ラダージャイロのトリムメモリー機能の不具合修正

ノーマルモードでラダートリムを取った後、このトリムデータをAVCS モード動作に記憶する機能の不具合を修正しました。

* 上記以外の機能については、バージョン1.30 と全て共通です。詳細のアップデート機能については、CGY750 アップデート機能説明書(バージョン1.10～1.30)を参照願います。アップデートの方法は、バージョン1.30 のソフトウェアアップデート方法と同様です。アップデート後のバージョン表示は、「Ver:1.31」となります。バージョン1.30 からバージョン1.31 にアップデートする際は、初期の電源投入後の“InitData”の表示はされません。バージョン1.20 以前からバージョン1.31 にアップデートする際は、“InitData”が表示されます。この場合は、表示が消えるまで、電源を切らないでください。

CGY750 バージョン 1.3x の改良点

- 制御アルゴリズムの改良により、より高いジャイロ感度設定が可能となりました。これにより、より高いヘリの飛行安定性が得られます。
- ロール、フリップレートの一性が大幅に改善されました。停止時、巡航時のレートは一定になり、3D 演技が非常にやり易くなります。
- 飛行時の、エレベーター、エルロン方向への干渉がほぼゼロに改善されています。
- ピルエット補正が改善され、フラットなピルエットが停止時、巡航時共に得られます。
- ホバリングの安定度が飛躍的に向上します。
- 設定が簡単になりました。また、標準のパラメーター設定のままでも殆どのヘリに対応します。
- ブラシレスモーターの端子に接続して、回転数をピックアップするポールセンサー(フェーズセンサー)に対応しました。ガバナのレスポンス設定に Silent モードを追加し、ポールセンサー使用時に適応します。
(対応するポールセンサーは、2 端子接続タイプのセンサーです)